

Scanning Autocorrelator

SSANO

F-Pack800

FEMTOWAVE®

フェムト秒レーザー 対応

コンパクト設計のヘッドと パワフルなソフトウェアの 高性能オートコリレーター。

誰よりも道具を大切に思うあなたに、どうしても使っていただきたいオートコリレーターをご紹介します。

オートコリレーターの最初の設置に苦労された経験はありませんか？一度セットした装置を二度と再調整したくないと思われたことはありませんか？もっと大きな画面で、もっと視認性のよい画面で、波形を観測したいと思われたことはありませんか？

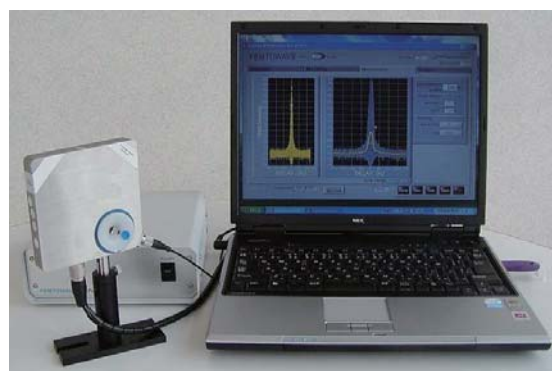
現場ユーザーの声に耳を傾け開発した、「小型」で「使いやすい」コストパフォーマンスに優れた新型オートコリレーターを、FEMTOWAVE® シリーズに新たにラインナップしました。

光干渉計の小型化を可能にする高度な光学設計技術に加え、さりげない使いやすさを実現する高度なソフトウェア技術など、FEMTOWAVE® の「こだわりと職人技」を結集したオートコリレーターの完成です。



SSANO の特徴

- レイアウトしやすいコンパクト設計
- 導入しやすい価格を実現
- 国内生産なのでサポートも安心
- 観測しやすいインターフェイスを採用
- ネットワーク対応なので遠隔管理も可能



※支持スタンドや PC は別途必要。

株式会社

光フィジクス研究所

Photo-Physics Laboratory Inc.

<http://www.photo-physics.com>

モデル	高分解能モデル	標準モデル	ピコ秒モデル
スキャンレンジ (ps)	2	5	20
最大測定パルス幅 (fs)	400	1000	4000
最小測定パルス幅 (fs)	40	50	200
遅延分解能	スキャンレンジの 0.1%		
リニアリティ	スキャンレンジの 1% 以下		
感度 ($P_{AV} * P_{peak}$)	$1W^2$ ※1		
波長レンジ (nm)	700-1000 (オプション対応可能)		
最小繰り返し周波数 (被測定光源)	1kHz 以上を推奨		
相関	Collinear		
電源	AC100V、50W、50/60Hz		
専用ソフト※2	アライメントモード 光軸調整時に使用する応答性優先のモード		
	モニタリングモード 通常の波形観測時のモード (波形表示部が大きい)		
	メジャメントモード パルス相関幅を表示するモード		
	アナリシスモード 関数フィッティングを行うモード		
出力	デジタル：USB (専用ソフトで PC へ取り込み) アナログ：別途ご相談		
寸法 (W×D×H)	ヘッド：100×100×18mm (突起部除く) コントローラー：185×180×65mm		

※1 平均パワー 2.5mW、@PMT detector、パルス幅 60fs、100MHz

※2 ソフトウェアの動作確認環境は、OS：WinXP、CPU：Celeron1GHz 相当、メモリー：512MB、ディスプレイ：XGA で USB ポートを2ヶ必要とします

注意 本仕様の数値は実測値であり保証値ではありません。

関連論文

(1) A. Watanabe, M. Hirose, H. Terane, S. Tanaka, H. Kobayashi, and M. Hara, Rev. Sci. Instrum. 55(2), 1984. (2) A. Watanabe, H. Saito, T. Tokizaki, Y. Ishida, T. Yajima, Rev. Sci. Instrum. 58(10), 1987. (3) A. Watanabe, H. Saito, Y. Ishida, T. Yajima, Optics communications. 63(5), 1987. (4) A. Watanabe, H. Saito, Y. Ishida, T. Yajima, Optics communications. 69(5), 1989.

※商品の仕様等は予告無く変更する事があります。予めご了承ください。

■代理店

■設計・開発

株式会社
光フィジクス研究所
Photo-Physics Laboratory Inc.

〒700-0082 岡山市北区津島中1-1-1
岡山大インキュベータ209
TEL 086-214-5333 FAX 086-214-5444
E-mail: sales@photo-physics.com
http://www.photo-physics.com